



発行人 福島県教職員組合  
 発行所 福島市上浜町10-38 電話024-522-6141  
 [定価一部 20円]  
 編集・責任者 角田 政志  
 e-mail: ftukyoso@poplar.ocn.ne.jp  
 http://www.f-t-u.or.jp  
 (この購読料は組合費に含まれています。)

「福島県教組規約の一部改正に関する全組合員投票」  
**組合の総力を挙げて**  
**これからの組合運動を構築しよう!**

**賛成多数!**

福島県教組規約の一部改正に関する全組合員投票の結果について

県教組は、9月15日(金)、全支部・全分会で「福島県教組規約の一部改正に関する全組合員投票」を実施しました。全組合員投票の結果、改正の内容について、全員の3分の2以上の賛成を得ました。この結果について、10月12日(木)に行われる第250回定期中央委員会において承認を得ることとなります。承認後は、福島県人事委員会に対し県教組の規約の改正手続きを行い、執行します。なお、全組合員投票の結果の詳細については、本部から各支部に報告しました。

これまで第9次組織機構整備委員会では、組織人員や財政面、本部と支部活動との関わりなどについて様々なケースのシミュレーションをもとに、今後の組合組織のあり方を慎重審議し、3年をかけて第一次答申を出しました。それを受け、第93回県教組定期大会で規約の一部改正の発議を決定し、発議された改正案を規約第32条により「組合員が平等に参加する機会を有する直接且つ秘密の全組合員投票」に付したものでした。

この規約一部改正に関する全組合員投票の結果を受け、県教組は、全力を挙げて組織強化・拡大に努めるとともに、支部活動と分会活動の活性化に力を注いでいかなければなりません。平和や原発再稼働の問題をはじめ、教職員の生活向上と労働条件の改善、教職員の長時間労働の是正、子どもたちの教育条件の整備などの諸課題を解決していくためには、組合の存在は欠かせません。これからの教育を担う教職員、社会を担う子どもたちのためにも県教組を大きくし、全組合員で活動を支えていかなければなりません。困難な状況を組合の総力を挙げて打開していきましょう。

**第250回定期中央委員会が開催されます!**

- |    |   |
|----|---|
| 日時 | 2017年10月12日(木) 10時から  |
| 会場 | 福島テルサ (駐車場は福島県教育会館)   |
| 内容 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・2017年福島県教組規約の一部改正に関する全組合員投票結果の件</li> <li>・経過情勢並びに当面する取り組みの推進に関する件</li> <li>・2017秋年闘争特別会計の編成に関する件</li> <li>・県教連第49回定期大会に臨む県教組の態度決定に関する件</li> <li>・その他の案件に関する件</li> </ul> |

※なお、中央委員会閉会后、県教連第49回定期大会が開催されます。

# 2017年県人事委員会交渉実施

9月15日、県人事委員会交渉を行いました。県公務員共闘として県教組から角田委員長・國分書記長・佐藤女性部長の3人が出席しました。

冒頭、県公務員共闘会議今野議長から「現在、働き方改革が注目されているが、福島の震災原発事故による被災、熊本地震等を通じ、『支援者支援』に対する国民の理解が進んだ。行政機能を停滞させずにいるのは、公務サービスを行う者の努力によるところが大きい。ぜひ頑張っている組合員の期待に報いる勧告をお願いしたい。」との挨拶がありました。

今回の交渉の重点事項として以下の3点を強く要請しました。

## 1. 2017年の給与改定勧告における賃金水準の引き上げ

- 月例給については、現給保障対象職員にも引き上げ効果が表れる配分及び号給増設を求める。
- 一時金は、国との格差0.05月の解消を求める。また、引き上げ分は、育児休業者・病休者にも反映されるよう期末手当に支給すべきである。

## 2. 公務における働き方改革の推進・長時間労働の解消にむけた具体策

- 教職員の長時間労働は社会的な問題であり、昨年は47都道府県中36都道府県で報告された。福島県でも抜本的な施策を勧告・報告に明記すべきである。

## 3. ストレスチェックの有効利用・実効あるメンタルヘルス対策の勧告

- メンタル疾患者の増加傾向が続いている。ストレスチェックの結果、高ストレスとされた職員への対策を勧告・報告に具体的に盛り込むべきである。

## 「妊娠・出産、育児・介護等に関する権利行使について」調査協力をお願い

日教組では、隔年で「妊娠・出産、育児・介護等に関する権利行使について」の調査をおこなっています。定年前退職者が今もって多い状況の中で、その防止と様々なハラスメントの起きない職場環境の実現にむけて、育児や介護等との両立ができる職場環境が求められます。長時間労働の是正など、ワーク・ライフ・バランスが可能な職場をつくることが重要です。

今回の調査結果を権利行使・権利拡大の取り組みの有効な資料とするため、下記の通り、積極的な取り組みをお願いします。

- 1 調査期間 9月30日(土)まで
- 2 調査対象 全組合員 (女性のみ対象の調査ではありません)
- 3 調査方法 WEB調査 組合員個人による直接入力となります。

【★PCの場合】(タブレット・スマホでも可)

- ① ブラウザ (IE、FF、edge、chrome等) を開く。
- ② <https://goo.gl/dGx9uG>をブラウザのアドレスバーに入力してENTERキーを押す。  
②の短縮URLが使用できない場合は以下のURLを入力してENTERキーを押す。

<http://labour-research.org/limesurvey/index.php/553884?lang=ja>

【★タブレット・スマホの場合】

- ① 右にある2次元コードを読み込む。  
(2次元コードを読むアプリを使う。)



臨時採用教職員部 部報

# みんなて"ほ"っほ" NO.6

## 臨時・非常勤教職員等全国交流集会 8/26(土)～27(日)

### 参加者の感想

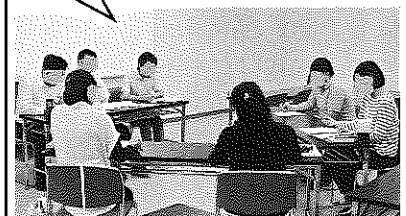


全国の交流集会で、雇用条件や悩みについて意見交換してきました。正規の教職員と同等の労働をしているにもかかわらず、『非正規』という立場のため賃金に上限がある・時間外手当が出ない・年休の繰越しができない・『空白の〇日』という年度末の空白期間内にボランティア勤務をするなどの現状を中心に話し合いました。特に管理職や一部正規の職員が臨時・非常勤教職員の雇用条件などを理解されていないことが問題であるとの意見が多かったです。私たちの分散会では、交渉で10年前の辞令と明細書・現在の明細書を示したことで賃金が上がった事例を話されました。各県の現状や課題、改善されたことを聞き、それぞれの立場で出来ることをする大切さを改めて感じました。このような機会をいただきまして、ありがとうございました。

## 採用試験2次対策学習会 9/3(日)

### 集団討論の様子

臨採部は採用試験2次対策学習会を実施し、スタッフも含め35人が参加しました。当日は集団討論、個人面接、模擬授業、小論文の添削を実施しました。初めは不安な表情を浮かべていた参加者の皆さんも、少しずつ自信をつけていく様子が窺えました。



また、今回の学習会で数人の組合加入がありました。参加者の皆さんのご健闘と合格を願っています。

## 参加してみても…

## 新採組台員スタッフの感想

## 運営係より

- 模擬授業、集団討論等、一人では出来ないことができ、たいへん有意義な時間となりました。
- 討論・面接の経験ができたこと、全ての学習の指導をいただけて助かりました。

参加者の先生方のお役に少しでも立てるようにと、昨年度の二次試験の様子についてお話をしました。参加者の先生から「来て良かったです」と言ってくれたので、次回もスタッフとして参加したいと思いました。

参加者のみなさんは、様々な働き方の中で、日々頑張られていることと思います。真摯に自らの働き方を考え、困ったときに語り合える仲間として、多くの方が合格するように、と運営に携わりました。

「この会は、毎年同じ活動だけで、繰越金が増えていく。存在役割を終えているんじゃないのかな」とか「予算消化に困って、小学生から標語や作品を募集して、参加賞や賞品、発表会や展示をすれば、活動している体裁を整えられる、と考えたパターンだな」とか…。数多くの団体が学校めがけて作品募集攻撃を仕掛けてくるので、夏休み後の作品整理は大変でした。「参加賞の良いもの」を基準に「精

「この会は、毎年同じ活動だけで、繰越金が増えていく。存在役割を終えているんじゃないのかな」とか「予算消化に困って、小学生から標語や作品を募集して、参加賞や賞品、発表会や展示をすれば、活動している体裁を整えられる、と考えたパターンだな」とか…。数多くの団体が学校めがけて作品募集攻撃を仕掛けてくるので、夏休み後の作品整理は大変でした。「参加賞の良いもの」を基準に「精

「この会は、毎年同じ活動だけで、繰越金が増えていく。存在役割を終えているんじゃないのかな」とか「予算消化に困って、小学生から標語や作品を募集して、参加賞や賞品、発表会や展示をすれば、活動している体裁を整えられる、と考えたパターンだな」とか…。数多くの団体が学校めがけて作品募集攻撃を仕掛けてくるので、夏休み後の作品整理は大変でした。「参加賞の良いもの」を基準に「精



学校は  
持続可能な  
組織!

「この会は、毎年同じ活動だけで、繰越金が増えていく。存在役割を終えているんじゃないのかな」とか「予算消化に困って、小学生から標語や作品を募集して、参加賞や賞品、発表会や展示をすれば、活動している体裁を整えられる、と考えたパターンだな」とか…。数多くの団体が学校めがけて作品募集攻撃を仕掛けてくるので、夏休み後の作品整理は大変でした。「参加賞の良いもの」を基準に「精

「この会は、毎年同じ活動だけで、繰越金が増えていく。存在役割を終えているんじゃないのかな」とか「予算消化に困って、小学生から標語や作品を募集して、参加賞や賞品、発表会や展示をすれば、活動している体裁を整えられる、と考えたパターンだな」とか…。数多くの団体が学校めがけて作品募集攻撃を仕掛けてくるので、夏休み後の作品整理は大変でした。「参加賞の良いもの」を基準に「精

「この会は、毎年同じ活動だけで、繰越金が増えていく。存在役割を終えているんじゃないのかな」とか「予算消化に困って、小学生から標語や作品を募集して、参加賞や賞品、発表会や展示をすれば、活動している体裁を整えられる、と考えたパターンだな」とか…。数多くの団体が学校めがけて作品募集攻撃を仕掛けてくるので、夏休み後の作品整理は大変でした。「参加賞の良いもの」を基準に「精

# 17秋闘キャラバンが スタートします！

みんなで  
諸課題解決と要求実現のために  
「見える分会活動」と  
「なかまを増やす分会活動」を  
展開しましょう！

県教組は、9月26日(火)の石川支部を最初に17秋闘キャラバンをスタートさせました。

県教組の秋闘キャラバンは、秋の賃金確定交渉の内容やその進み具合などを各分会に報告していきながら、分会活動の強化と組織拡大を主な目的としています。私たち教職員の諸課題を解決し、要求を実現するためにも取り組みについて組合員で共有し、分会活動を強化することが大切です。分会訪問とともに、市町村長や市町村教委に要請書を提出し、「教育予算拡充、教育諸条件の整備、長時間労働の是正、集団フック素洗口の導入を強行しないこと」などを要請します。

各支部では、訪問する分会を計画し実施しますので、各分会では、支部と連絡を取り合いながら受け入れ態勢を整え、みんなで力を合わせて秋闘キャラバンを成功させましょう。

## 放射線教育対策委員会だより

9月10日放射線対策委員会として福島県環境創造センター(通称 コミュタン福島)を見学してきました。展示は「ふくしまの3.11から」「ふくしまの環境のいま」「放射線ラボ」「環境創造ラボ」「環境創造シアター」の5つのブースに分かれていました。スタッフの方から丁寧な説明を受け、90分程度見学しました。午後は郡山教組会館で意見交換会をしました。「思ったよりも原発事故を取り上げていたが、東電の責任について触れられていない。」等の意見交換を行い。感想・意見を集約して、コミュタン福島に提出することになりました。



## 第67次福島県教育研究集会 案内

●主催／福島県教職員組合 福島大学教職員組合  
福島県立高等学校教職員組合 福島県私立学校教職員組合連合

◇とき 2017年11月3日(金) 12時30分～  
11月4日(土) ～11時45分

◇ところ 桑折町立醸芳中学校

### \*日程

	11:00	12:00	12:30	13:00	14:30	14:45	17:30
11/3 (金)		分科会 運営会議	受付	開会 行事	記念講演 (90分)	移動	教科別分科会 (165分) 「市民と語る会」 (90分)
11/4 (土)	9:00	課題別分科会 (165分)	移動	事後処理 委員会	12:00	12:30	15:00 16:30

\*記念講演 3日(金) 13:00～14:30

「改訂学習指導要領の問題点と私たちの働き方を考える」(仮題)

講師 澤田 稔さん(上智大学教授)